

2015年度事業・活動計画

熱帯林行動ネットワーク(JATAN)事務局

活動予定

- 1) APP/APRIL キャンペーン(インドネシア産紙製品キャンペーン)
 - ・引き続き、アスクルのキャンペーンを継続し、調達方針の遵守を実施するように求めていく。
 - ・グリーン購入ネットワークの議論をフォローし、適正に「エコ商品ねっと」が運用されるよう情報提供や協力していく。
- 2) 輸入合板のキャンペーン活動(サラワクとタスマニア)

サラワクから日本に輸入されている合板のサプライチェーンを明らかにし、地元のコミュニティと熱帯林をはじめとする自然環境に大きなインパクトを与え続けている木材生産・流通の問題解決に向けた市場キャンペーンをスタートさせる。また、現地の視察を通して問題事例の情報アップデートをはかる。
- 3) ボガブライ問題 日系企業による石炭鉱山開発に伴う保護価値の高い重要な森林が伐採されている問題

このコアラの生息地でもある絶滅危惧種指定となっている森林の皆伐を行っている出光興産の石炭鉱山開発に融資をしているJBICに対して、他団体や現地団体とともに、ガイドライン違反であることの申し立てを継続し、さらに拡大していく。
- 4) ニューサウスウェールズ州のパルプ用天然林伐採問題(危惧種コアラの生息地破壊)

現地活動団体や日本の団体と協力して、日本製紙や顧客企業への情報提供を行い、連邦政府レベルでも危惧種となつたコアラの生息地の伐採事業が行われている状況の改善に向けた活動を展開する。
- 5) パーム油の調達方針や融資方針の策定支援活動
 - ・森林減少、泥炭地開発事例、土地紛争事例、労働問題などの事例について調査活動を継続し、インドネシア・北スマトラ州などの事例調査と報告を行う。
 - ・RSPO会合で先進的調達方針に関する情報収集
 - ・CSRコンサル業界や協力的企業との連携体制を構築する。
 - ・パーム油に関する消費者向けの意識啓発活動
 - ・パーム油がグリーン購入法の特定調達品目に指定化されるよう働きかけをおこなう。
 - ・食品表示において「パーム油」が明示されるように、政府や業界に働きかけをおこなう。
- 6) 会員拡大キャンペーン / ウェブ充実化の取り組み
 - ・ウェブ充実化を通じて、主にオンラインでの会員拡大や寄付拡大の方策を検討してみる。
 - ・英語版を新しく構築し、JATANの活動をなるべく海外のステークホルダーに伝える活動をおこなう。
- 7) 森林認証制度を利用した先住民族の権利尊重の推進
 - ・市民外交センターとアイヌ協会と協力して、森林認証制度を利用した形でアイヌ民族の伝統的権利の尊重を推進する活動として、FSC管理材のリスク評価の検証プログラムに関する情報提供や、FSC認証林での利用権拡大のための情報提供活動を行う。
 - ・SGECについても先住民族の権利尊重に向けた基準改定を求めていく。
- 8) 違法木材対策法の制定支援

インドネシアの紙パルプ産業の違法性や合法性認証制度SVLKに関する情報提供の面から支援を行う。
- 9) 2020東京オリンピックに向けた森林認証材のメディア・プロモーションが増えることをにらんで、ユーザーが認証材を比較検討できるような、森林生態系と地域住民の人権保護の観点から見た情報の提供をはかっていく。

以上